



なでしこ

『大宮中精神: 優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ!』

1/8 (木) 始業式式辞 (抄録) 今年の漢字は『夢』の話

(前略) さて、私の年頭の想いを話します。恒例の 2026 今年の漢字を発表します。大宮中では、年末にその年を振り返って漢字を充てるのではなく、一月に今年一年を表したい私たちの漢字を発表しています。ちなみに昨年末の我が国の 2025 年を象徴する漢字は『熊』でしたね。じゃじゃーん、2026 年の大宮中の漢字は、、、『夢』です。私は大宮中に赴任してまる 8 年になります。自分でも長いなと思いますが、この正月に今年を原点に還ろうと考えました。8 年前に大宮中の門をくぐり、中庭の『夢を持とう』と彫られた石碑を見つけました。見た瞬間にビビッと来て、大宮中精神『夢や目標をもって挑戦する若者であれ』という言葉が浮かびました。もう一味、大宮中の生徒の挑戦には『たくましさ、強さ』と同時に『優しさ』は欠かせないと考えました。そこで『優しさをもって、夢や目標に向かって挑戦する若者であれ』なのです。これまで入学式や朝礼の話の中で伝えてきたつもりです。今年の漢字として、この原点に還って、皆さんのハートに「夢を描いて成長できる大宮中であれ」という気持ちを共有したいと思います。

『夢』はロマンがあってワクワクして生活に張りが出る、言い換えればやる気が湧き出るもの。とは言っても実現するにはハードルは高いし、近づき方が分からない、夢は叶わない^{はかな}儂いものという印象もあります。『はかない』という漢字は、人偏に夢で『儂い』と書きます。この漢字の成り立ちは『人が見る夢』=『儂いものよ』という由来なのでしょう。私の話をします。私は中学時代、書物や新聞といった活字が大好きで、将来文章を扱う仕事として新聞記者になりたいという『夢』がありました。当時ロッキード事件という大事件があり、世の中の不正を取材して報道することに憧れました。今、皆さんの目の前にいる私は、全然違う仕事をしています。でも私の見た夢は『儂いもの』とは思いません。その時々自分の進路を考えてきた結果です。夢をあまり重苦しく考えないでください。自分の憧れの存在と似た道を探るとか、自分の大好きなことや得意なことの延長線から、こんな自分になりたいということを想像してワクワクする夢を描いてみることです。これによって皆さんの毎日の生活に、目標が出来てやる気が生まれます。夢によって皆さんの心に火が灯るのです。



By Chika

今年の大宮中の皆さんは、「君の将来の夢は？」と質問されて「ありません」「分かりません」「考えたことはありません」という返事は NG です。今の自分の夢に向かって実現するための努力をする若者であってほしい。そんな人の集まりが大宮中ならいいな！こんな願いを込めて、今年の漢字を『夢』としました。今年もみなさんと先生方、私と



一緒に成長していける午年にふさわしい『闊歩』、ここぞという時に『疾走』する年にしましょう。 ※闊歩：ゆったりと大またに歩くこと。疾走：力いっぱい全力で走ること。

授業ぶらっと訪問③⑥

1月14日(水) IB美術 瀧本教諭

IB教室での美術の授業です。冒頭に瀧本先生は「今日から新しい制作に入ります」と告げます。『オリジナル文様エコバッグ』を作るそうです。電子黒板を使って生徒に様々な美しい文様の画像を示しながら、7時間で制作をおこない、生徒が文様を考えて木片で文様のスタンプを作ってバッグにプリントすると伝えます。面白そうな制作です。『文様』と『模様』の違いについて生徒にクイズで尋ねます。生徒から「文様は意味合い」とか「願いが入っている」という意見が出ました。



本時の目標は『文様が何から生まれたかを考えよう』で、自分の文様を考える流れです。ステップ1は電子黒板に14個の文様を示して、何から生まれたか生徒に聞いていきます。生徒は『波』『蔓』『矢羽』『亀の甲羅』といった思いつく元の形をプリントに記入していました。このような作業を通して、実際にある風景や物の形をデフォルメして文様を発想する準備運動をしています。ステップ2は『自分の願いから文様を生み出そう』です。生徒は3つの願いを考えながらプリントに記入しています。「バスケットで都大会に行く」「サッカーで華麗なシュートを決める」「テストで高得点を取る」「英検準二級を獲る」「忘れ物をなくす」…。生徒は様々な願いを書いています。さて、このデザインを文様化するステップ3は、『自分の願いを表すような形を思い浮かべながら文様デザインと考えよう』。いよいよ難しいタスクです。30個考えるそうです。瀧本先生が資料集を使って、実物から文様に作るコツを説明します。元のイメージをどんどん崩して単純化して、拡大し

たり断面にしたりを繰り返して表現するそうです。生徒はアイデアを生み出そうとして取り組み始めました。とはいえ、なかなか気に入ったアイデアがパッと生まれるわけもなく、多くの生徒が苦戦していました。その様子を見て、瀧本先生は周りの人のスケッチを見せ合ったり相談したりしても大丈夫と優しく伝えます。もう一時間この続きをやるそうです。

私も中学生の頃、美術の授業が好きでした。当時は今回のようなワクワクする題材の授業はなかったのですが、当時ポスターのデザインをあれこれ悩んだことを思い出しました。そんな時、生成AIを使うと、リクエストすれば様々な文様スケッチが、AIによって産み出せそうです。瀧本先生の授業を観て、試しに私も挑戦してみます。プロンプト(命令)を入力します。「〻忘れ物をなくす」をモチーフにして文様を作ってください。次々に文様の例が産み出されました。「もっとポップにして!」も自由自在です。生成AI(Copilot)によると「これは忘れ物に鍵をかける=記憶をしっかりとロックするという意味を込めています」だそうです。へえ…。(頭使ってないぞ…。)

こうした生成AIを活用して自分のアイデアを練るのは、果たして学校教育として成立するのだろうか?デザインは一例として、課題を文章化するレポートやプレゼン資料の作成に、生徒のタブレットで生成AIが使える時代が来ています。生成AIは大人の仕事上のタスクを効率化することに対して驚異的な能力を発揮する一方で、子どもの創造性を育てるための存在として考えた時、使い方次第で毒にもクすりにもなりうる。既に子どもの目の前に生成



AIが存在する今、「使ってはいけない」が通用するのか。子どもに生成AIの適切な使い方を教えることで、豊かな創造性を育む道はあるのか。今日の授業を観ていて、そんな問いが浮かびました。

1月20日(火) 社会科 蛭沢教諭 3B

公民の授業でディベートの授業です。3Bの生徒たちは休み時間の間に机をディベート用の体形に手慣れた感じで並べて座っています。教室の電子黒板を見ると、テーマとして『外国人労働者をもっと受け入れるべきか』『部活動の顧問は教員として続けるべきか』『高校生がアルバイトをすることを認めるべきか』と、面白そうなテーマが掲示されていました。蛭沢先生に確認すると、これまで授業で『労働（働くこと）』について、働くことの意義、労働者の権利、男女雇用機会均等法、外国人労働者の拡大等を学び、その知識を活用してのディベート学習という流れだそうです。ディベートのポイントとして、①問題の関係者を洗い出そう②根幹の論点をすり合わせよう③反論への反論を考えよう④問題の本質をとらえよう、と注意書きが電子黒板に示されていました。

蛭沢先生の合図で全体がA、B二つに分かれて、その中で肯定グループ対否定グループ（4対4）でディベートが始まりました。今日は『高校生がアルバイトをすることを認めるべきか』について取り上げています。ディベートの流れは、『肯定側、否定側の主張⇒シンキングタイム①⇒肯定側、否定側の反駁タイム①⇒シンキングタイム②⇒肯定側、否定側の反駁タイム②⇒シンキングタイム③⇒最終弁論⇒審判による優劣判定』という流れでした。



タブレットを使って図表や資料を示したりしながら、活発な意見交換が行われて一連のディベートが終わると、まわりで聴いていた審判の出番です。その判定の結果は、Bグループは7対3で否定派の勝ちでした。Aグループは5対4で肯定派の勝ちとなりました。前の時間におこなったA組のディベートは、A、Bグループとも僅差で否定派の勝ちだった

そうです。大宮中の三年生は、高校生のアルバイトには否定的な考えがやや優勢という結果でした。

蛭沢先生の授業の意図は、ディベートを通して、大宮中の三年生が高校生のアルバイトについて、その功罪をしっかりと把握した上で高校生になってほしいということでした。ディベートでは高校入学した四月からアルバイトを速攻で始める人が意外に多いというデータも出ていました。アルバイトを経験してお金を稼ぐことで、世の中の仕組みやお金の価値を学ぶ機会もあります。稼いだお金を単に遊覧費に消費する人から、貯金したり学費や生活費に充てる人まで事情は様々です。アルバイトに時間を掛け過ぎて学業に支障が出るという話も聞きます。私立高校はほぼ原則禁止のようです。年齢や生活環境の異なる交友関係の広がりから、思わぬ人間関係や勤務先でのトラブル、バイトテロなどの社会問題もあります。生徒が高校生になった時、まわりに流されずに生徒自身で考えるきっかけの時間となった様子でした。



蛭沢先生によると、ディベートの論点整理をしたり参考資料集めに、生徒の多くは生成AI（杉並区はCopilot）を活用しているということでした。生成AIは便利ですが、平気で嘘もつきます。引き出した資料が架空のものということも…。これからの教育は、生徒は自分の頭にある知識をベースにして、生成AIを鵜呑みにしない利活用が求められます。クリック一つで様々な論点整理や資料データを、ワンタッチで引き出せることを習得した生徒は、これから先どのように学習しながら進学を経て社会人になっていくのか。社会人としてどのように仕事をしていくのか、様々な期待と不安を覚えました。今朝の新聞で大学入試の共通テストでChatGPTが各教科で満点を連発したという記事を読みました。私たちはこの二年ほどで生成AIの驚異的な進化を目の当たりに

して、知的活動、労働や営みに対する人間の存在価値を問われる時代が既に来ていることを知りました。

英語スピーキングテスト (ESAT-J) 結果 11/23(日)実施

11月に区内の都立高校を会場に実施された3年生対象のスピーキングテストの結果は表の通りでした。この結果はA~Fの6段階で評価されます。今回の大宮中の特長として、A評価が43.9%(都平均47.6%)、B評価が40.9%(都平均29%)と、A、B段階の割合が84.8%(都平均76.7%)の成績でした。この結果は都立高校の入試の判定資料としても使われることになっています。本校では特色ある英語教育として、英語授業での話す力、聴く力の学習の他に、体験的な活動として三月に一・二年生でOEGG(大宮英語生活体験)を実施しています。また学校支援本部主催で『英検講座(ペラペラ塾)』も毎学期に実施して、実用英語技能検定にチャレンジを促しています。

	受験者人数	スコア
本校平均	66	77.7
東京都平均	68028	75.1

ESAT-J 6段階の基準

- 【A】身近な話題について、相手と意見交換できる。まとまりのある内容を話したり、自分の考えや理由、具体例を話したりすることができる。順序立てて分かりやすく相手に伝えることができる。
- 【B】相手のことについて質問したり、自分のことについて質問に答えたりすることができる。身近な話題について自分の考えと理由を具体的に話すことができる。文を組み立てながら複数の文を使って話すことができる。
- 【C】相手に話しかけたり、自分のことについて質問に答えたり、自分の考えと理由を話したりすることができる。特有の場面で用いられる定型表現や簡単な語句などを用いて話すことができる。
- 【D】自分のことについて質問に答えたり、自分の考えを話したりすることができる。特有の場面で用いられる定型表現や簡単な語句などを用いて話すことができる。
- 【E】:自分のことについて質問に答えたり、話したりすることができる。特有の場面で用いられる定型表現や基本的な単語を用いて話すことができる。
- 【F】英語で話そうとしても伝わらないことが多い。

(これからの学校教育、生成AIに負けないためにどうする?!)を体感した『ぶらっと訪問』でした。

1 23(金)

百人一首大会 (1年)

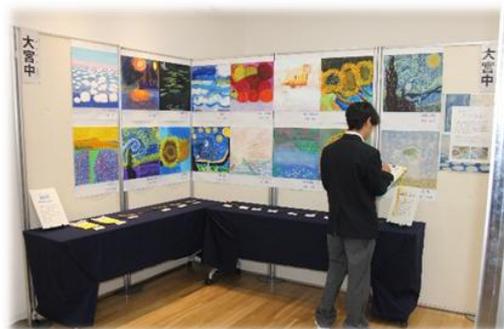
恒例の百人一首大会を実施しました。今年も杉並かるた会から三名の若者が指導に来校してくださいました。彼らが会場の体育館にあてやかな袴姿で生徒の前に登場すると、雰囲気も一気に百人一首モードに突入です。札の読み手をお願いしながら、A、B、C、G組の生徒はそれぞれ対面に分かれて、かるたを集中して取り合っていました。



1 20(火)

連合展覧会 (G組)

セシオン杉並での区内特別支援学級と済美養護学校との連合展覧会が開催されました。G組生徒は他の学校の作品を鑑賞しながら、良い刺激を受けていました。



保健体育の授業の2年生による『創作ダンス』のひとコマです。3月5日(木)午後の発表会に向けて取り組

